

**TORO®**

**深さゲージ・キット**  
**ProCore® SR エアレータ**  
**モデル番号125-3300**

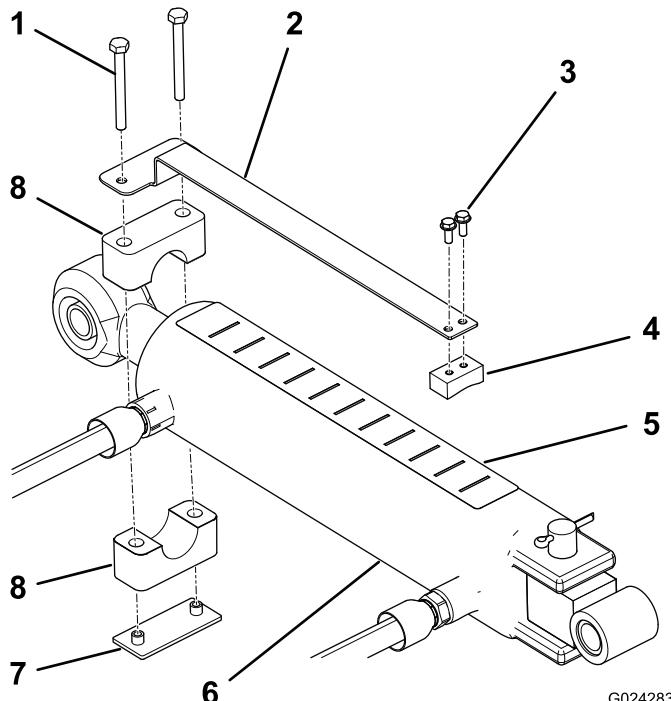
**取り付け要領****⚠ 警告**

**カリフォルニア州  
第65号決議による警告**

米国カリフォルニア州では、この製品に、ガンや先天性異常などの原因となる化学物質が含まれているとされております。

**取り付け**

1. PTOを解除し、駐車ブレーキを掛ける。
2. そして、エンジンを止め、キーを抜き取る。
3. スライドブロックの平らな面に深さゲージを取り付ける；#10 x 1/2 インチのねじ（2本）を使用し、各部材を図 1 のように配置する。

**図 1**

- |             |              |
|-------------|--------------|
| 1. ねじ       | 5. 深さ表示ステッカー |
| 2. 深さゲージ    | 6. シリンダ      |
| 3. ねじ(2本)   | 7. 溶接プレート    |
| 4. スライドブロック | 8. チューブクランプ  |

4. チューブクランプ、溶接プレート、および 1/4 x 2-1/2 インチねじ2本を使って、深さゲージを上リンクシリンダのロッドの先端部に仮止めする（図 1）。適当な位置に自由に回せるようにクランプはゆるく止めておくこと。
5. シリンダの先端部が十分にきれいであること（ステッカーを貼れる状態）を確認する。
6. シリンダの上部に深さ表示ステッカーを貼り付ける。オペレータから見える位置で、かつ、油圧ホースなどの配置を邪魔しない位置を選んで貼り付けること（図 1）。ステッカーの最後（J という文字で終わる）がエアレータに向くように貼り付ける。
7. シリンダロッドが、トラクタの他の可動部などと干渉せずに自由に伸び縮みできることを確認する。問題なければ、深さゲージを適切な位置に保持して取り付けねじを本締めして固定する。
8. ステッカーに印刷されている文字は特定の深さを表すものではない。エアレータを試運転して実際の深さを調べ、その深さがゲージの表示でどの位置になるのかを確かめるようにする。そのようにした上で、実際に穴あけ作業を行うときにオペレータが、より深く（J 側）またはより浅く（A 側）という風に調整する。

